

もみじ

—広島山岳・スポーツクライミング連盟会報—



一般社団法人 広島県山岳・スポーツクライミング連盟
〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17
電話・FAX (082) 296-5597
E-Mail: hgakuren@lime.ocn.ne.jp
URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>
郵便振替口座 01380-6-37958

題字デザイン 今村みずほ

編集 西部伸也

本号内容

1. 山のガイドブック紹介
2. 登山教室報告
3. 県民ハイキング報告
4. 来年度の岳連行事予定
5. 福山山岳会 100 周年記念式典他の案内
6. 安佐北消防署講習会報告
7. 中国地区岳連 (山協) 連絡協議会報告
8. 岳連短信

一方、広島県が一番長い県境を接する島根県の山にもこれまで結構登ったと思っていたが、『島根県の山』に取り上げられている 52 の山とルートのうち、訪れたことがあるのはまだ 20 くらいである。こちらのほうはさすがに全部訪れるというのは難しそうなので、とりあえず広島から近い山にはいつか登って見ようと思う。昨秋訪れた半四郎山の先にある広見山、安蔵寺山からの帰りに目を引いた盛太ヶ岳などがその候補だろうか。

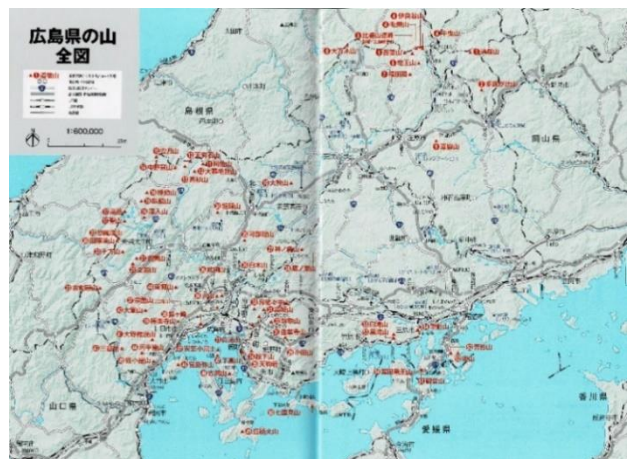
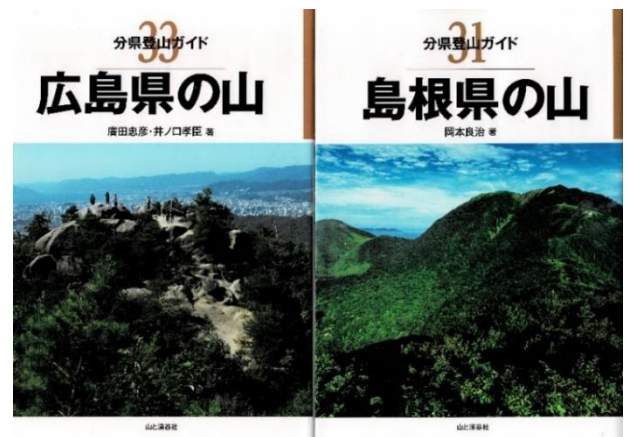
1. 山のガイドブック紹介

(事務局長 西部 伸也)

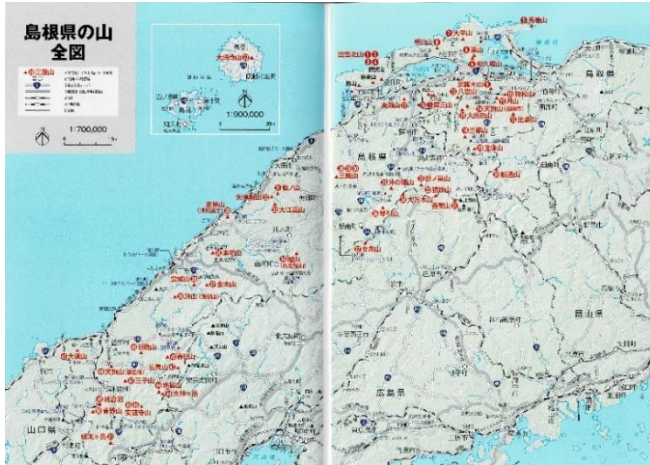
『もみじ』前号で福山山岳会の『コースガイド 100』を紹介したが、今年度当連盟に他に 2 冊のガイドブックが寄贈されているので、それも紹介してみる。いずれも山と溪谷社が出している「分県登山ガイド」シリーズの本で、1 冊は『33 広島県の山』(2018. 4. 30 発行、1900 円+税)、もう 1 冊は『31 島根県の山』(2018. 12. 1 発行、2000 円+税)である。筆者は前者が広島山稜会の廣田忠彦さんと広島パイオニアクラブの井ノ口孝臣さん、後者が広島山岳会の岡本良治さんである。

『コースガイド 100』もそうであったが、この 2 冊もコース概要・地図・写真が要領よく配置されており、歩行時間・歩行距離・累積標高差などの情報が端的に示されていて、山を選ぶに際して便利である。

ちなみに私自身、『広島県の山』に紹介されている 54 の山には大体登っているが、それでもまだ訪れたことのない山が 10 ばかりあり、いつかは全部訪れてみたいと思っている。



県東部の山が少ないが、福山山岳会『コースガイド 100』がそれをうまく補ってくれる。



2. 登山教室報告

第 11 回 2 年生 2/2(土)～3(日)

登山形態：小屋泊山行

山城：大山

人数：9 名（スタッフ含）

今回の 2 年生は雪山の実践という事で大山に行ってきました。日曜に天候が崩れる予報の為初日に 7 合尾根を登り、翌日は元谷で講習をしました。全員が無事 7 合尾根を登れたので良かったです。

(指導部 森本 寛)

『大山七合尾根 雪山の集大成』

(登山教室 2 年 平山 綾乃)

山行一週間前から、何だか心が重たい。いよいよ登山教室の集大成である雪山大山。計画では、1 日目は六合尾根、2 日目は七合尾根を登る。しかし天候、雪質次第で変更もありえる。雪崩れる可能性もある場所。夏道を歩くのと違って緊張感が増します。

いよいよ当日、駐車場へ向かう道にも雪がほとんどありません。雪が少なすぎてガッカリするかなと思いましたが、前日に積雪が 30 センチあったとの事。その新雪を踏みながら、大山寺から元谷避難小屋へ向かいました。

翌日の天候が午後から雨の予報となっていたため、1 日目に七合尾根を歩く事になり、荷物を残置し出発。ブッシュを避けながら、ふかふか雪をラッセルです。最初は 50 歩交代で歩きますが、数メートルしか進みませんが、九人で行うラッセルは、いい感じで休憩もできて、雪山はチーム戦だなあと感じました。振り

返ると、すごい急斜面にいる自分に驚きながら、風もなく足元も安定して立っているため、怖さも感じることなく順調に進んでいきました。

しかし、皆の足を止めてしまうブッシュに遭遇。複雑な枝が足の動きを妨げ、足を置けそうな枝に足が上がり、手をかける枝に手は届かず、頭が混乱。ロープを出してもらっても、なかなか身体を持ち上げる事ができず、半泣き状態になりました。なんとか脱出する事ができた後は、一気に疲労感に襲われました。雪が少ないために、ブッシュが隠れていなかったようです。雪崩や凍った足元といった心配はしていましたが、まさかブッシュにいじめられる事は想像もしていませんでした。

無事七合尾根から夏道合流地点へ到着し、時間が遅くなったため、山頂は行かずに下山することに。六合尾根から元谷避難小屋へ向かって下山。緊張感から解放され、膝丈の雪を楽しく歩くことができました。

2 日目は、雨の予報となっていたため、山へは向かわず、講習を行って下山することになりました。

斜面を利用して、ロープで引き上げる方法、滑落時の初期動作の練習等を行いました。前日のブッシュ脱出時は、これまで教えていただいたロープワークも実践する事となり、改めてすばやくできるロープワークを身につけないといけないと反省しました。

登山教室、来月で卒業となります。ぎゅうぎゅうに並んで寝る事が苦手でしたが、もうそんな事もなくなるんだなあと少し寂しくなりました。



(写真提供 松本 正和)

第 11 回 1 年生 2/23(土)～24(日)

登山形態：テント泊山行

山城：掛頭山～臥龍山

人数：15 名（スタッフ含）

今回の 1 年生は雪山でのテント泊という事で掛頭山～臥龍山に行ってきました。なんとか積雪がある場所をみつけて雪上テント泊を実施できました。

(指導部 森本 覚)

『2 月掛頭山～臥龍山の雪山山行を終えて』

(登山教室 1 年 吉川 智重子)

今回私は初の、宿泊の時の計画を立てました。チェックの段階でたくさん指摘も受けましたが、中でも共同装備の分担は急遽 1 人欠席で 4 人中 3 人が女性になった事もあり最後の最後まで悩みました。

そして迎えた当日！私にとって 3 回目の雪山で、今回も登山口にはほぼ雪がない状態。途中から徐々にツボ足で歩き掛頭山へ。そこでわかに履き替え 1123 のピークへ。そして幕営地に……。なんとかテントが張れるだけの雪があり、各テント毎にここぞと思われる場所を整え、3000メートル級の山に行った時を想定して、風が吹きそうにない方向を予想し、雪の壁、そしてトイレ作り……。どちらかと言えば雪山は苦手な私ですが、段取りよく作業するのは好きなので、疲れましたが楽しかったです。その後雪の斜面の歩き方、斜面で転んだ時の停止の仕方を実践し楽しい夕食に……。テントの中での過ごし方は初めて聞くことばかりでとても為になりました。特に雪からの水作りは貴重な体験でした。

そして 2 日目、今まで習ったロープワーク再確認と新しい結び方を習い、あと何点かロープにはこういう使い方もある……という説明を受け、ツボ足で下山。予定地に雪がなくコースを変えアスファルト道を歩き、久しぶりに足裏の痛さを思い出しました。

来月は都合で出席できないため、今回が私にとって 1 年生最後の山行になりました。全然変わっていない気がしていましたが、振り返れば歩荷も平気になり、テントも人をリードしながら張れるようになっていました。スタッフの皆さん、そして同級生の皆さん引き続きよろしくお願いします。



(写真提供 松本 正和)

3. 県民ハイキング報告

(事務局長 西部 伸也)

2 月 17 日 (日) 東広島市 白鳥山 (西高屋駅～山頂～東西条小学校裏)

参加者数：一般 20、担当団体 (マツダ親和会山岳部) 5、担当団体以外会員 29、計 54 人

行動時間 (西高屋駅～東西条小学校裏、休憩を含む) 4 時間 40 分 (その後、西条駅までは約 30 分)

先月の佐木島は公式的には雨天中止でしたが、このたびは冬としては暖かな好天にも恵まれ、参加者のけがもなく無事終了しました。

J R 西高屋駅前バスロータリーで受付・開会式・ストレッチの後、高屋の団地を抜けて白鳥山を目指しました。途中の神社などでは蒙古軍退却を受けての神社の由来・神社の種類や「白鳥伝説」などについての興味深い歴史解説が豊田理事長からありました。

神社と電波塔のある山頂で昼食の後、小田理事による「体力づくりとトレーニング」についてのワンポイントレッスン、豊田理事長による 3 度目の歴史解説があり、ルート最高点の松子山を経ての下山ルートにつきました。

なお、白鳥山登山口横の谷などもそうでしたが、山頂に上がる車道の下が大きくえぐられているなど、7 月豪雨災害の傷跡がまだ生々しく残っていました。

下山途中、西条の町が望める地点で「酒都西条」についての歴史解説を聞き、下山口の東西条小学校裏でクールダウン・閉会式があり解散となりました。

その後はほとんどの人が J R 西条駅に向かいますが、自由参加で賀茂泉の『酒泉館』に立ち寄ったり、さらには他の蔵元にも立ち寄ったりする人もいて、ハイキングに加えて、「酒都」もおおいに満喫したようです。



4. 来年度の岳連行事予定

各会ならびに個人会員の皆様の来年度の活動計画を立てる上で参考になるかと思しますので、来年度の当連盟関連の主な行事予定をお知らせします。(西部)

月	県民ハイキング () 内は担当団体	岳連例会山行 来年度テーマは 「廿日市市 20 名山」
4		14(日) 鬼ヶ城山、羅漢山
5		22(水) 大峯山、河平連山
6	9(日) 恐羅漢山 (広島山稜会)	2(日) 吉和冠山、広高山
7		6(土)～7(日) 大山
8	25(日) 龍王山 (東広島山の会)	3(土)～4(日) 石鎚山
9	15(日) 小室井山 (広島県庁山の会)	29(日) 冠岳、三倉岳
10	20(日) 高松山 (可部山岳会)	23(水) 大野権現山・おむすび岩
11	17(日) 牛田山 (広島やまびこ会)	20(水) 勝成山、鷹巣山 30(土) 高見山・船倉山
12	8(日) 大江の貝殻塚と周辺 (宮島太郎の会)	4(水) 極楽寺山
1	26(日) 高尾山～呉娑々宇山 (安藤縦走会)	5(日) 弥山・駒ヶ林 22(水) 小室井山
2	16(日) 佐木島 大平山 (岳連スタッフ)	2(日) 十方山 26(水) 野貝原山・折敷畑山
3	15(日) 黒滝山～白滝山 (広島パイオニアクラブ)	29(日) 経小屋山・城山、 奥滝山・中津岡山・ロック ガーデン

その他の主な当連盟関連行事

(S C = スポーツクライミング、太字は当連盟主催)

4/13(土)～14(日) スカイラン事前準備

4/19～21 FISE WORLD SERIES (旧広島市民球場跡地)

4/21(日) 三倉岳自然公園協議会総会・山開き

4/28(日) 国体 S C 競技県選手選考会 (C E R O)

4/29(月) 山野峡山開き

4/29(月)～30(火) 福山山岳会 100 周年記念式典・交流会・記念登山 (山野中学校体育館・山野農村公園・馬乗観音か山野峡)

- 5/11(土) 定期総会・懇親会 (東方 2001)
- 5/18(土)～19(日) スカイラン事前準備
- 5/18(土)～19(日) 中国地区自然保護研修会 (山口県下関市)
- 5/25(土)～26(日) 登山フェスティバル・比婆山スカイラン
- 6/1(土) スカイラン後片付け
- 6/1(土)～2(日) 県高校総体登山競技 (県民の森)
- 6/2(日) ひろしま「山の日」県民の集い (竹原市ほか)
- 6/21(金)～23(日) 国体 S C 中国ブロック大会 (島根県松江市)
- 6/29(土)～30(日) 無雪期レスキュー講習会 (場所未定)
- 7/20(土) S C 中国地区ユース選手権 (鳥取県倉吉市)
- 7/28(日) 夏山リーダー養成講習会① (広島市東区スポセン)
- 8/2(金)～6(火) インターハイ登山大会 (宮崎県祖母山系)
- 8/17(土)～18(日) 夏山リーダー養成講習会③④ (県民の森)
- 9/1(日) 夏山リーダー養成講習会④ (広島市東区スポセン)
- 9/28(土)～30(月) 全日本登山大会 (岐阜県高山市・下呂市)
- 10/4(金)～6(日) 国体 S C 競技 (茨城県鉾田市)
- 10/12(土)～14(月) 西部地区安全登山指導者研修会 (大阪神戸)
- 10/19(土) 山岳・S C セミナー (広島市西区民文化センター
講師予定者: 広島登山研究所・松島宏さん)
- 10/25(金)～27(日) 中国高校登山大会 (三瓶山)
- 10/30(水) 全員協議会 (広島市西区民文化センター)
- 11/23(土)～24(日) S C 部ブロック別研修会 (鳥取県倉吉市)
- 1/5(日) 新年互礼登山 (宮島)
- 1/17(金) 国体&インターハイ報告会・岳連新年会 (予定)
- 2/29(土)～3/1(日) 積雪期レスキュー講習会 (比婆山)
- 3/7(土)～8(日) 中国地区山岳連盟 (協会) 連絡協議会 (鳥取県)

5. 福山山岳会創立 100 周年記念式典他の案内

以下の案内は福山山岳会 3 月『会報』掲載の情報に
もとづいています。(西部)

**記念式典 4 月 29 日 (月・祝) 13:00 開場～16:30 閉
会式** 福山市立山野中学校体育館にて (福山駅北口より
送迎バスあり。福山駅北口 12:30 発、帰りは第 1 便
が山野中学校 17:15 発・第 2 便が山野農村公園 19:30
発)

内容はスライドショー・映画「ふたりの桃源郷」上映
など。『コースガイド 100』・地元製品の販売もあります。

第 2 部・交流会 17:30～ 山野農村公園 (中学校から
500m) 食事は「健康舎カレー」500 円、お酒は各自で。
宿泊は農村公園にテント泊か車中泊または「ゆうすけ
山荘」(定員 20～30 人)

記念登山 4 月 30 日 (火・祝) 午前中

コース ①農村公園～馬乗観音～岩屋権現

②聖橋駐車場～山野峡キャンプ場 (自然観察)

参加申込は 3 月末日までに福山山岳会事務局へ氏名
と連絡先を明記して下の要領で。

720-0074 福山市北本庄 2-4-3 福山山岳会事務局

FAX 084-925-2812

メール toranoo@nifty.com

	バス 行き	式典	バス 帰り 1 便	交流 会	バス 帰り 2 便	山荘 宿泊	登山 ① ②
4/29							
4/30							

利用・出席するものに○、登山は①か②の番号で

6. 安佐北消防署 (広島市消防局) 登山講習会報告

(指導部長 後藤 裕司)

安佐北消防署から、講習の依頼が来ている旨の連絡
を受け、副会長の岡谷良信さんと私とで対応した。1
月 16 日に安佐北消防署にて救助隊長の森田氏と打ち
合わせ、2 月 19 日 (火曜) 午前中の講習会に臨んだ。

安佐北消防署は、広島市以外にも県内の安芸太田地
区、廿日市吉和地区なども山岳遭難の際には出動が求
められているようで、装備の拡張など体制の強化を計
る途上にあるが、多くの隊員は山に不慣れであるため、
知識を深めてもらいたいと、山の講習となった。安佐
北消防署以外の署からの参加もあって 40 名以上の方
に聴講していただいた。

講習時間が午前 9 時半から 11 時半と短いので、深
い内容には触れられなかったが、最近の日本の山岳界
の傾向、当岳連の紹介等を岡谷さんから、登山の基本、
遭難者の傾向などを私から話した。途中休憩中には岡
谷さん持参の装備を公開して興味を持ってもらえた。
隊員の皆さんに望んだのは、「地形図を持って山に入
って現在地が分かる様になって欲しい」ということ。

署長様、隊長様達には、現場での研修が効果的との認識から、今後、搬送などの訓練に岳連も共にできればとお話をさせていただいた。



(写真は安佐北消防署の森田さんより)

7. 中国地区岳連 (山協) 連絡協議会報告

3月9日(土)～10日(日)に島根県の玉造国際ホテルで2018年度の中国地区山岳連盟(協会)連絡協議会が開催され、当連盟からは山田会長・豊田理事長・錦織競技部長が出席しました。主な内容を会員の皆様にお知らせします。(西部)

1. 日本山岳・スポーツクライミング協会 (以下 J M S C A) からの情報提供

- 加盟団体のガバナンス強化のためにも法人化が求められている。
- ブロック理事が廃止され、全国からの推薦・選考となるが、中国地区からも1名推薦されている。
- 国体スポーツクライミング競技 (※) のルールが I F S C (国際スポーツクライミング連盟) のルールに沿うよう見直しの方向である。

※第74回大会より「山岳競技」から名称変更

- 事務局が岸記念体育会館からジャパン・スポーツ・オリンピック・スクエア (新宿霞ヶ丘町) に移転する。

2. 国体 S C 競技中国ブロック大会

- 6/22(土) リード (旧千酌小学校体育館)
- 6/23(日) ボルダリング (M-W a l l)
- 各県から審判2名派遣。
- ブロック大会における成績・順位決定方法が変更になる可能性があるため、主管の島根県から J M

S C A に確認する。

3. S C 中国地区ユース選手権

- 7/20(土) 倉吉クライミングセンター (予定)
- リードとスピード2種目のコンバインドを予定
- カテゴリーはジュニア・ユース A ～ C で、今回はユース D 設けない (安全面の配慮)
- 屋外施設のため雨天時は中止になる可能性あり (要項に中止の判断時期を記載する)

4. 中国高校登山大会

- 10/25(金)～27(日) 三瓶山。昨年の地震災害で通行止めの箇所 (犬戻し付近) があるため、ルートは検討中

5. S C 部ブロック別研修会 (予定と意見交換)

- 11/23(土)～24(日) 倉吉文化体育会館 (予定)
- 審判資格の更新について

各県から次のような意見が出された。

- ・ 審判資格の更新期限がきたものから順次有効期限1年となり、義務研修を毎年受けて更新する必要があるが、これまで以上に資格を維持するための費用負担が大きくなっている。更新を断念する資格所有者も今後は出てくるのが想定される。有資格者が減少すると国体正式種目としての評価ポイントにも影響するのではないか。
- ・ 審判・セッター義務研修にかかる有資格者の費用負担軽減を考え義務研修を独自開催。近隣のB級審判に講師をお願いするつもりでいたが、頻繁に公認大会のジャッジをしてないと講師の許可が下りなかった。

6. その他行事予定

● 中国地区開催行事の今後の予定

年度	国体 中ブロ	SC 中 国ユース	高校 登山 大会	ブ ロ ッ ク 研 修	連絡 協議 会	自然 保護 研修
2019	島根	鳥取	島根	鳥取	鳥取	山口
2020	鳥取	島根	山口	岡山	岡山	鳥取
2021	岡山	山口	岡山	広島	広島	島根
2022	広島	岡山	広島	山口	山口	調整中
2023	山口	広島	鳥取	島根	島根	調整中

● J M S C A 事業の今後の予定

年度	国体	中ブロ枠			全国 登山 大会	安全 登山 研修
		成女	少男	少女		
2019	茨城	2	2	2	岐阜	大阪
2020	鹿児島	調整中			千葉	香川
2021	三重				北信越	佐賀
2022	栃木				関東	島根
2023	佐賀					奈良
2024	滋賀					

2029 島根国体開催要望中

2033 鳥取国体開催要望中

● 各県からの情報提供

- ・ 3/16(土) 鳥取県障害者スポーツ協会主催パラ体験（健常者も参加可能）
- ・ 4/21(日) 国体 S C 競技岡山県選手選考会（リード）オープン参加可能
- ・ 5/18(土)～19(日) 中国地区自然保護研修会
下関市蓋井島

8. 岳連短信

1. 寄贈御礼

三原山の会『筆影』No. 468（3月号）

福山山岳会『会報』H31. 3月号

2. 3～4月の行事案内

3/16 岳連例会山行（安芸冠山）

3/24 県民ハイキング（高城山～蓮華寺山）

4/13～14 スカイラン事前準備作業（県民の森）

4/28 国体 S C 競技広島県選手選考会（CERO）

（国体の「山岳競技」は来年度から「スポーツクライミング競技」に名称が変わります）

3. 役員改選

今年度末は理事の改選期となります。来年度・再来年度理事予定の方、よろしくお願いします。新年度当初の主な予定は 4/10 第 1 回運営会議、4/24 第 2 回運営会議（第 1 回理事会を兼ねる）、5/11 定期総会・懇親会となります。

4. 2019 年度登山教室受講者募集

申込締切は 3/31（定員になり次第）です。詳細は連盟ホームページのニュースより確認してください。

5. 日本山岳・スポーツクライミング協会の略称について

名称変更後、従来の「日山協」と新たな「J M S C A」の 2 つが混在していましたが、3 月 2 日の理事会で、今後は略称を「J M S C A（ジムスカ）」に統一することが決定されました。

編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽にお寄せください。寄稿の場合は所属、役職を記入下さい。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○会員団体で会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。随時紹介します。

○この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせ下さい。



カラマツ林と杉林

庄原市高野町上湯川の猿政山林道（俵原川沿いの県道 110 号・奥出雲高野線から分岐）の林道入口から 500m ほど入った所にあります。（3 月 1 日 西部撮影）